



《平和メッセージ》

アーミッシュ・グレイス―悲劇を超克する赦しの霊 「正義を行い、慈しみを愛し、へりくだって神と共に歩む」(ミカ書6:8)

司祭 アンデレ 中村 邦介

今年は戦後80年となり、悲

惨な戦争への記憶の空洞化が

懸念される中で、今また新た

な戦争が、ロシアとウクライ

ナ、イスラエルとパレスチナ

やイランなどで繰り広げられ

ています。強権国家が横暴な

戦争をし続け、無数の人々を

犠牲にしています。戦争の世

紀と言われた二十世紀を経て

二十一世紀に入り、誰も勝者

とはならない無謀な戦争の

教訓から平和な人類の将来

に、かすかな希望を抱いてい

ました。しかし現状を見ると、

国の利益のために不合理な理

屈によって世界秩序を支配し

ようとする自国主義が、多く

の国々を様々な対立と相克へ

と駆り立てています。

このような時代状況の中

で、どのように平和への取り

組みが可能なのでしょうか。

もし、キリスト教会として

考えるとすれば、

それは端的に教

会が本来の教会

になること以外

にありません。それは、主イ

エスが私たちに託されたよう

に、教会の営み全体を平和に

仕える共同体として再構築す

るという課題です。

昨年米国のヴァージニア神

学校の「Yish教授が来日さ

れ、ある講義の中で「アーミッ

シュ・グレイス」と呼ばれる

出来事を紹介されました。全

く知りませんでした。米国

で2006年10月2日に起き

た銃乱射事件でした。事件は

ペンシルベニア州の「アーミッ

シュ共同体」のニッケル鉱山

学校で起こりました。近くに

住む32歳のC・ロバーツが学

校に乱入し、10人の子供たち

を拉致し、内5人を射殺し、

5人に重軽傷を負わせた事件



でした。アーミッシュ

は、元々ドイツから移住

してきたキリスト者共同

体で、伝統的生活様式を

今でも守って生活して

いることで有名です。現

代文明に依存せず、馬車

を用い、電気も水道もな

く、自給自足の生活をしてい

ます。この共同体の少女たち

が犠牲となりました。殺害さ

れた最年長の少女は犯人に「私

を殺して、みんなを解放して」

と叫んだそうです。この事件

が全米を驚かしたのは、犠牲

者の両親たちが、「犯人を赦そ

う、恨みを抱かない」と表明

したからです。「恨みを抱かな

い。犯人の邪悪さを考え続け

ない。それらに執着すると自

分を苦しめることになる」と

遺族たちは告白しています。

彼らは葬儀が終わると、馬車

を一行にして、ロバーツの家

族の家の前に停まり、家族に

「赦しと彼らの苦悶への同情」

を告げたのです。やがて学校

は再建され「新しい希望の学

校」と名付けられました。

このアーミッシュでの出来

事は、特殊な例外的なもの

と見なすことは簡単です。しか

し改めてキリスト教の福音が

世の価値観とは異なった「憎

しみと報復ではなく、赦しが

悲劇を根本的に乗り越えさせ

る」という善なる力を証して

いるのです。アーミッシュ共

同体に見られるように、刑罰

的な正義から修復的な正義

へ、あるいは赦しと和解を目

指す非暴力的なコミュニケーション

ションが、今日人間の欺瞞と

暴力に立ち向かう試みとして

広がっています。このような

動きに連帯して、私たちの教

会は今までの福音理解を刷

新し、福音に仕える共同体と

なることが期待されていま

す。教会の存続や安定を最優

先する組織や体制の問題以上

に、教会が担い証すべき福音

理解への真摯な問いかけとそ

の実践が、これから将来に向

かって教会の存在事由を決定

づけていくのです。

北関東 東京教区

「新しい教区」が大切にしていけるもの・こと

司祭ニコラス中川英樹

北関東教区・東京教区宣教協働特別委員会副委員長

東京教区常置委員長

今年 2025 年 11 月に開催予定の、北関東教区、東京教区の両教区会にて、「共に一つの教区になること」を選択するか、しないかが決まります。

私たちは今、とても大きな決断のときを迎えようとしています。この決断に東京教区に連なる私たちは誰一人として無関係ではありません。なぜなら、その新しい教区とは、「わたしたちの教区」であるからです。だからこそ、この「新しい教区」がどんな教区であろうとしているのか、私たちは知っておく必要があります。

◆「新しい教区」は、次の 3 つのことを大切にします。

いのち

私たちは、私たちが遣わされている社会、世界の中で、日々、多くの人びとと出会います。その人たちすべてが神に愛された尊い隣人たちです。私たちは、神に愛された者の一人として、隣り人たちのいのち（尊厳、存在、価値）を共に守り合うように、そして、そのいのちに責任的に仕え合うように神から召されています。

いのり

私たちは、私たちが遣わされている社会、世界の中で、日々、出会う人たちの声を聴きます。声にならない声を拾い上げて神に祈ったイエスに倣い、私たちもかすかな声に聴き、それを教会の祈りに結びます。人びとの困難、哀しみ、痛み、歓び、希望を共に祈り合う中で、神が私たちがキリストの僕へと変えていきます。

まなび

私たちは、私たちが遣わされている社会、世界の中で、日々、出会う人たちとの交わりを通して、聖書を学び直します。イエスがどこに出掛け、誰を大切に想い、誰に向かって何を語ったのか、そのイエスと向き合います。そのイエスが私たちに果たすべき努めを教え、その努めへと向かう、私たちの信仰を新しくされます。

「いのち」、「いのり」、「まなび」これら 3 つは深くつながり、環^{めく}り合っています。そして、これら 3 つは決して新しいことではなく、イエスがその生涯において最も大切にしたこと、さらに使徒的な教会がずっと守り続けてきた神の働きです。また、これらの働きは、北関東教区 23 教会・礼拝堂、東京教区 32 教会・礼拝堂と両教区内の教育機関、社会福祉施設、医療機関が各々の歩みの中で果たしてきた尊い働きでもあります。両教区が一緒になろうとする今このとき、私たちは、イエスと共に働くことの意味と原点、神からの使命をもう一度見つめ直します。そして新しく創り直されます。それが「新しい教区」のはじまりであり、中心になります。

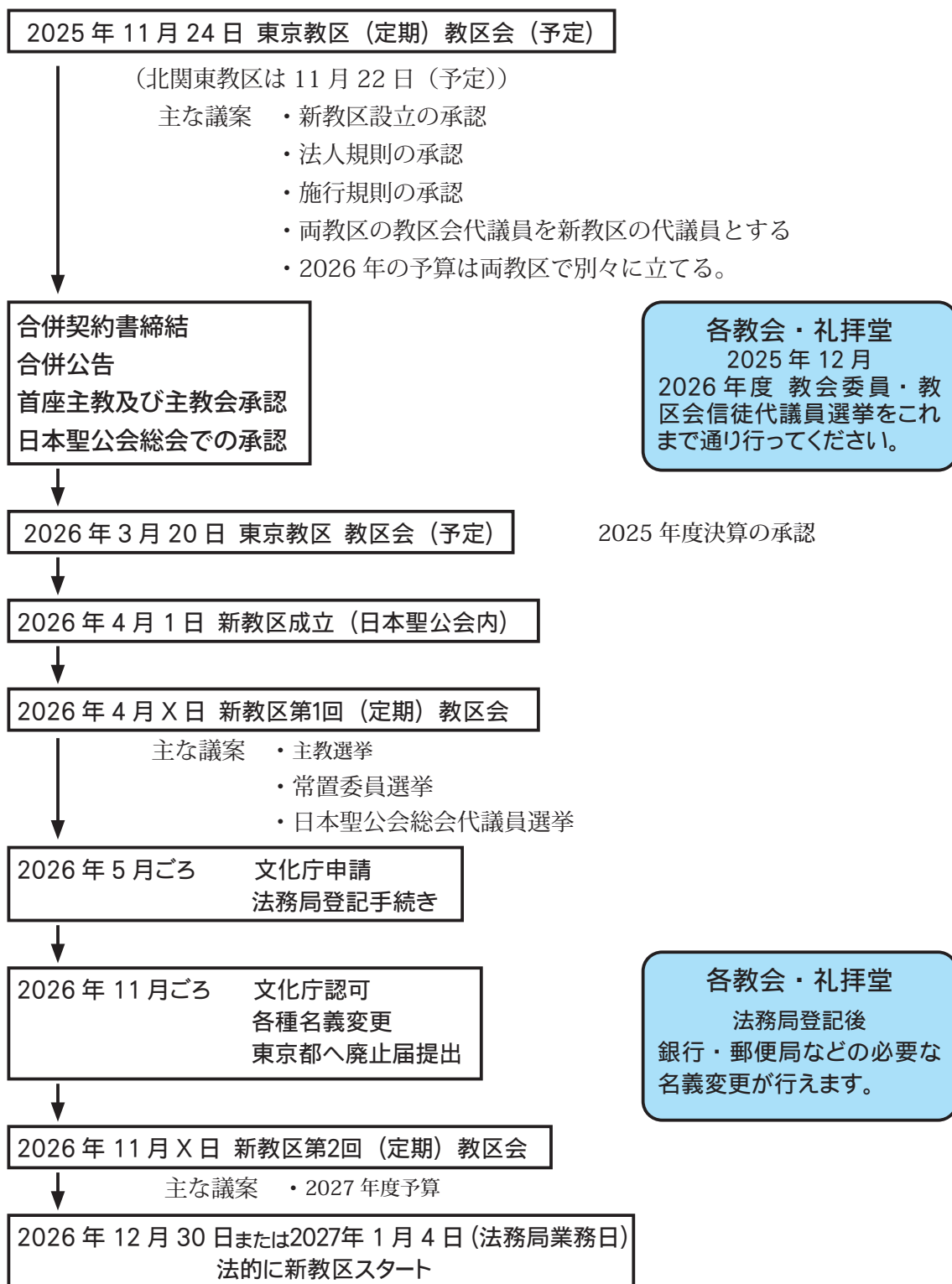
「新しい教区」では個々にではなく一緒に、この働きを担っていきます。それが「新しい教区」になることの一つの大きな意味です。両教区ともに長い歴史があり、互いに違いがあります。けれど「違う」ということが互いを豊かにすることを私たちは知っています。これまでの、私たちの異なる知恵と経験を持ち寄りつつ、神によって、神自らが働く、この世界へと遣わされ、仕える者とされることを願います。

「共に一つの教区になる」という、この選択は、目先の課題解消のためではなく、50 年後も、その先も、神の大切な働きを私たちが果たしていくための選択です。また、つねに神の真理を探究することを価値とする私たち聖公会の信仰を次代に伝えていくための選択です。喜びと感謝に溢れた神の教会を未来に託すために、教会相互の信頼とコミュニケーション（連帯）を今、私たちは創ろうとしているのです。「共に一つの教区になる」… 私たちはこれを神のみ業だと信じて、これからを、共に歩いていきたいのです。

◆この先、急いで考えていかなければならないことは、主に 4 つです。

- ①「新しい教区」の働きを実践していくための組織とルールづくり
- ②教役者たちの給与の統一と、それを支えるための新しい負担・分担方法の確立
- ③安定的な教区運営のための財源の確保と創出
- ④キリストの弟子（共に働く仲間）の数を増やす

◆合併までのスケジュールについて



◆どうぞ、「新教区設立 MEETING」にご参加ください。

日時等は、教会・礼拝堂に届いているポスターをご参照ください。

祝 執事 按手

執事 岡 フランセス

2025年5月17日、私は聖オルバン教会において、東京教区で執事に按手されました。聖オルバン教会は英語で礼拝を行っている教会ですが、按手式はほとんど日本語で行われ、当初私は、英語での按手式の方がより意義深いのではないかと思います。不思議に感じていました。しかし、礼拝の本質と、日本聖公会の他教会から多くの聖職者や信徒が参加してくださったことにより、この按手は私個人や聖オルバン教会だけの出来事ではなく、むしろ日本にあるキリストの体、つまり神様の民全体が一つとなつて、新たに神様に仕える者を立てるものであることを強く感じました。聖オルバン教会、そして教会のより広い共同体の中で神様に仕えていく中で、これまでいただいた支えと励ましに深く感謝し、今後もお祈りをお寄せいただければ幸いです。



新しい任地に遣わされて

栄光の架け橋

執事 林 汶慶

聖パウロ教会牧師補の林汶慶（りんぶんけん）です。4月より東南アジア聖公会西マレーシア教区から転籍してきました。中国系マレーシア人で、生まれも育ちも国籍もマレーシアです。

初めて日本の地に足を踏み入れたのは、1991年3月で、高校卒業後、留学のためでした。1年間日本語の課程を経て、明治大学並びに大学院で勉強し、その後、十数年間ITエンジニアとして、日本の会社に勤めていました。会社で日本人の妻と出会い、今高校3年生の息子がいます。

父が亡くなったことをきっかけに、年老いた母への親孝行のため、20年間暮らしていた日本を離れ、家族と共にマレーシアに帰ることにしました。妻がその少し前にキリスト者となり、自分も帰った年の暮れに、妻と妹の影響で、キリストに従うことを決意し、それから、近所にある聖公会の教会に通い、翌年息子と共に洗礼を受けました。



マレーシアでは中学校の数学の先生を経て、神学校に入りました。

当初は全く日本で牧会しようとは思っていませんでしたが、日ごとに、神様が私に日本に行くことを望んでおられると強く感じ、将来日本で牧会することを決意しました。西マレーシア教区主教にもその思いを伝え、快く理解が得られました。

卒業後、西マレーシア教区主教の按手の元、公会の執事になり、そして、2023年2月に、再び日本に戻ってきました。当初は、聖愛教会で一信徒として、日本聖公会の教会生活に馴染ませてもらい、そして今年の4月から、正式に日本聖公会東京教区に転籍し、今現在、聖パウロ教会の牧師補として就任しています。

日本聖公会の一員であることをうれしく思っています、そして、このチャンスにいただいた高橋主教並びに常置委員の皆さまに感謝いたします。日本とマレーシアの架け橋になるだけでなく、神様とより多くの人々の架け橋になることが、私に与えられた使命です。

春のデキゴト

北関東教区信徒一致の日
合同礼拝 (5・3)



大阪教区新主教
バルナバ小林聡師 (4・12)



真光教会創立150年
記念礼拝 (6・9)



下町ファミリ
ピクニック (4・29)



「司祭のついで」

ちいさな子どもたちと礼拝

ソーニャ・スチュワート・ジョーロム Wベリーマン 著

左近深恵子・西堀和子・プラウネル・のぞみ 訳

一麦出版社刊

司祭 西平 妙子

この本の表紙は、やさしい色使いで子供たちが「よい羊飼いの話を聞いているようすが描かれています。この本に出会ったのは、もう10年以上前でしょうか。その新版が、

2022年に出版されました。このプログラムは、モンテッソーリ・メソッドを基盤としています。実演する聖書物語とその物語の中にある、神と深く語らうための工夫がされています。

日曜学校の幼稚科、小学校低学年クラス、幼稚園で使うことができます。

この本を通して物語を語る時、私自身が子どもたちから大きなお恵みをいただいているので、ご紹介したいと思います。

礼拝の本ですが、今のところ物語の部分だけを実践しています。物語は、教員を使ってお話しします。そして、



物語を話した後、思い巡らしのためいくつか質問をします。その質問が、子どもたちにとって大切な時間、私にとって驚きの時間です。

先日行った「聖霊降臨日」のお話の中で、「聖霊を受けたお弟子さんたちは、出て行っていったいどんなことをしたでしょう」という質問をしました。ある子が言いました。「喜んで出て行った」。別の子は「喧嘩している人を仲直りさせた」と言いました。他の子は、「礼拝をした」。5

歳の子どもの答えです。

私の想定をはるかに超えた答えが、子どもから返ってきました。子どもたちは、聖霊の働きを、理解していると感じました。大人はすぐに答えることができるでしょうか。子どもは、すぐに答えました。

礼拝は、実際に参加することが一番です。これをきっかけに「子どもと礼拝の会」のホームページをご覧ください。横濱ユニオンチャーチの横にある、グリーンハウスでの大人のための「ちいさな子どもたちと礼拝」に参加していただきたいと思います。

教会談話室

聖アンデレ教会

聖アンデレ教会は、YouTube 広報チャンネルを通して「今、福音に聴く」を配信しています。「今」を生きる私たちに与えられた福音のメッセージを改めて聴き、信仰の原点を思い起こし、祈り、分かち合い、励ましの機会したいと思います。聖アンデレ教会のHPからご覧になれます。

1 回も見なかった人はいませんか？ 1 回しか見ていない人はいないという噂です！是非のぞいてみてください。

真光教会

2025年6月9日真光教会は創立150年記念礼拝を致しました。

ウィークデイとあって大々的なご案内は避けましたが、教区主教、歴代牧師、管理牧師、主日礼拝にご協力いただいている司祭方において頂き、良い礼拝を守ることができ感謝感激いたしました。移転を繰り返した、長い歴史と先人たちに思いを馳せました。

東京聖マリア教会

岩浅 明子

4月に三光教会からオルガンを譲っていただきました。足鍵盤も付いた立派なオルガンです。ストップ

の組み合わせで音色が選択でき音量も一段と豊かです。譲っていただけた幸運に感謝。オルガンと共に音響も改良され、コロナ禍以来のウェブ礼拝は今も対面礼拝と共に続いています。オルガンを弾きたい人、聴きたい人、どうぞ、おいでください。

大森聖アグネス教会

歌門 明美

大森聖アグネス教会は2025年聖霊降臨日に105周年を迎えます。5年前100周年はコロナ禍の為、集い祝う事は叶わず、記念誌と、「十字架の道行」の額縁作成にて終了。今年は祝会で堅信50周年を迎えるお二方のお祝いと、これまでの大森聖アグネスの歴史と共に過ごしてこられた方々から、その歩みについて熱く語っていただきました。主に感謝。

渋谷聖公会聖ミカエル教会

当教会では毎年ヒルダ・ミシェル信徒講座という信徒の学びを深める企画を行っています。今年は「信徒が守る礼拝」というテーマで、み言葉の礼拝の解説、聖書解説資料作成の意図、聖書解説資料を使った勧話奉仕への活用、学校教育での勧話などについて講義形式で実施する予定です。参加費無料で対面及びZoomにて開催します。

目白聖公会

目白聖公会では4月以来、毎主日

の午後にミヤンマーの方々が礼拝をささげています。言語や教派を越えて礼拝堂が様々な方の「祈りの場」であることに、神様の恵みと祝福を感じています。また、複数の方が洗礼を志願されて、聖霊降臨日には一人の兄弟が洗礼の恵みに与られます。新しい仲間を迎える喜びを皆で分かち合いたいと思います。主に感謝。

東京諸聖徒教会

酒井 留美

東京諸聖徒教会の日曜学校の日常は、9時半に集まって礼拝の役割（蠟燭をつける、聖歌番号を告げる、献金を集めて献げる、お祈りをする）を決めたら、静かに聖堂へ入って礼拝を献げ、その後はホールで思い思いに遊ぶというものです。

でもこの夏は教会に1泊するキャンプを計画しています。バーベキューに花火、楽しみが広がります！

東京聖テモテ教会

東京聖テモテ教会は、7月の創立記念礼拝で今のところ5名の洗礼・堅信が予定されています。第2、4水曜日19時の聖餐式にも種々の世代の人々が集い、主日も新来者に恵まれ、教会の交わりがいつも新たにされています。4月の「おしごと会」で植えた夏野菜も順調に育ち、これまた教会を豊かにしてくれています。御恵みに感謝します。

神田キリスト教会

2027年、神田キリスト教会は創立宣教150年を迎え、10月に記念礼拝を予定しています。それに向けて4つの小委員会が発足し、それぞれ準備が始まりました。教会の記念誌や祝会、それから、地域に繋がる教会として何かできることは、と話し合っています。

今年も8月末に那須高原での教会のキャンプが予定されています。

浅草聖ヨハネ教会

キリスト教入門講座を毎月第4日曜午後開催し、有意義な学びの時間となっています。

今年の「オープンチャーチ&ミニマルシェ」は、10月26日（日）午後開催予定と決まりました。「ご近所の方、関係団体の方、教会信徒同士のつながりを大切にしよう」を目的に準備を進めていきます。

聖救主教会

今年のペンテコステは「子どもと大人の聖餐式」を行ないました。キッズスクールや保育園の在園生、卒園生の子どもたちとご家族にも参加いただき、久しぶりに大勢で賑やかな礼拝となりました。また、礼拝後の愛餐会は、恒例の焼きそばとフランクフルトをいただき、食後は皆でゲームを楽しみました。子どもも

大人も大いに盛り上がりました！

神愛教会

北村 篤嗣

神愛教会では新しい方にも親しみやすい教会を目指して、いくつかの取り組みをしています。毎週木曜午後のオープンチャーチではお祈りを求めている方のために信徒が交代で教会を開いています。また、2ヶ月に1回のウエルカムサンデーは、色々な楽器を使って楽しい礼拝を行っています。これらにより新しい方の参加が増えており今後が楽しみです。

葛飾茨十字教会

日曜こども会（日曜学校）を第2日曜日の10時から開いています。プレイタイムではキットを利用した工作やゲーム等が好評。参加は2家族ほどと少な目ですが、楽しい会となっています。

この4月から隔月で映画会を開催。昨年思い切って購入した65インチのテレビモニターを利用して『ジーンザ・ス・クライスト・スーパースター』『野のユリ』等を視聴。

聖ルカ礼拝堂

8月10日は聖路加国際病院を創立したルドルフ・ボリング・トイスラー宣教師の逝去記念日で、今年は8月6日の聖ルカ礼拝（水13時）に合わせて記念礼拝を行います。聖路加国際病院に関わる人々が聖霊の働

きによってキリストに出会い、聖ルカ礼拝堂から真の平和が世界に広がりますように。

東京聖三一教会

聖霊降臨日、毎年この日が創立記念日です（136年目）。今年、この日から主日聖餐式の入堂と退堂を奏楽にて行うようにしました。それまでは聖歌を歌いながらでした。もつと前は、奏楽にてでしたので、正確には戻したことになります。小さい変化ですが、それまでの歩みを振り返りつつ、これからも何が大切かを祈り求めていきたいと思っています。

東京聖十字教会

昨年創立100周年を迎えた東京聖十字教会では、「宣教2世紀を目指す聖十字教会のお話会」という分かち合いがスタートしました。色々な課題や希望はあるものの、まずはゆっくり各々の信仰や教会への思いを分かち合うことから始まっています。普段聞くことの少ないお互いの物語に驚いたり感動したり。前向きな話し合いとして継続していくことを願っています。

聖マーガレット教会

戦後80年となるこの年、アメリカを中心とする西洋と「イスラエル」のシオニスト同盟のために、世界は第三次世界大戦の危機に直面してい

ます。聖マーガレット教会ではこの夏、ゲストをお呼びしてガザ・パレスチナ支援チャリティー・イヴェントを企画し、戦争と平和について共に考える機会を持ちます。

阿佐ヶ谷聖ペテロ教会

阿佐ヶ谷聖ペテロ教会は、創立100周年を迎え、6月28日（土）13時より、歴代の牧師の方々、地域の方々を迎え、高橋宏幸主教の司式・説教で記念感謝礼拝を行います。他にも、6月14日（土）には、立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊を招いて100周年記念コンサートを開催し、看板の建て替え、会館の整備などを行っています。阿佐ヶ谷聖ペテロ教会の新たな歩みのために、皆さまのご加勢をお願いいたします。

インマヌエル新生教会

西武地区キリスト教会連合の「一致のための礼拝」が6月1日（日）14時より、カトリック徳田教会にて、カトリックのバルトロメオ稲川保明神父の司式、聖公会のアモス金大原司祭の説教で行われました。「西武地区キリスト教会連合」は西武線には含まれた中野・練馬地区の5つのキリスト教会が58年間にわたり教派を超えて活動が続いているグループです。毎年「一致礼拝」を通して主にあつて一つとなる恵を分かち合っています。

す。今年は56名の方が一致礼拝に出席されました。

立教学院諸聖徒礼拝堂

毎月の第3主日は「Chapel Gathering Day」と称し、全チャペレン、全奉仕学生、会衆が集う日としている。今年は、三位一体主日で、主教巡回日。15名の堅信按手式が行われた。下は立教小学校5年生、上は多分60代の方々。幼児洗礼の3名は3世代のご家族、50代以上の方々も立教小学校・中学校からのOBで、高橋主教はじめ、堅信受領者のご家族、ご友人、名親の一部は私自身を日曜学校時代からご存知で、ちよつとした「同窓会」の様だった。他にも現役大学生やコロナ禍のオンライン聖書勉強プログラム出身の方など、様々なバックグラウンドのチャペルメンバーが誕生した喜ばしい一日だった。

清瀬聖母教会

若森 恵子

武蔵野の木立の中の清瀬聖母教会には、聖堂前のマリアンガーデンを中心に、エンジェル、アグネス、フルベリーと名付けられた4つのガーデンがあります。20年前からグリーンフィンガーズのメンバーが手入れしてきました。この春リニューアルし、小さな果樹園もできました。小鳥の声を聞きながら、季節の花を楽しむに近隣の人も訪れています。

八王子復活教会 中山 玲子

先日、臨時の現在聖信受領者総会が開催されました。修繕積立金の取り崩しの了解を得るためです。聖堂が建設されてから20年以上経過して、屋上防水と外壁塗装をし直す工事をするようになりました。幼稚園の終業式を待って夏の間に工事が行われます。綺麗になるのが楽しみです。

聖パトリック教会 小野 創

聖霊降臨日は、教会の庭にテントを張って礼拝を捧げました。これまで帆布の重厚なものを大切に使用していたのですが、今年はより軽量で価格も手頃なテントを導入しました。準備もしやすいので、他の行事にも手軽に使えます。屋外なので奏楽や音響などがいつもと違いますが、風を感じながらこの世界のさまざまなことに想いを馳せる豊かな礼拝です。

聖マルコ教会

聖霊降臨日の午後、オープンチャッチを開催。「教会ってどんなところ？」「あなたの街の教会」を合言葉にのぼりを掲げ地域の方々をお迎えしました。オルガンクイズでは正解連発のお子さんに驚き、有志マルシェの大盛況、カフェマルコの手作りスイーツや子どもプログラムの釣りゲームと、心地よい日曜日の午後、ご参加くださいました皆様に感謝。

— 東京タワーの麓 —

減点法？ 加算法？

「幸せはお金では買えない」という言葉を耳にしたことがありましたが、最近では「幸せもお金で買える」という言葉さえ耳にします。何を以て幸せとするかは人それぞれでしょうが、お金と等価交換できるような幸せがあるなら、これ程手軽なことはないかも知れません。毎年発表されます「長者番付」は、そのまま「幸せな人ランキング」にもなりかねません。

「幸せ」を巡っての様々な名言、格言は数多あります。もちろん、聖書の中にも「幸い」という言葉は出てきます。そして、そこでは「神様との繋がり、関わりの中に生きられることの幸い」を伝えています。「いのちの繋がりを喜び、感謝しながら生きられることの幸い」と言い換えることもできるかも知れません。

「人に喜んでもらえること、それが私の幸せである」と言った人がいました。イエス様や、キリスト教界を代表するマザー・テレサ、アッシジのフランシスコはじめ多くの人たちの顔が浮かんできます。

近年、目を覆いたくなるような、いのちに関わる様々な悲しい事件を耳にします度に「I Born」ではなく、「I Was Born」という言い方に秘められていることの深さ、豊かさを改めて思われます。言うまでもなく、いのちは一人きりでは成り立ち得ません。英語の表現が伝えてくれているように「授かりもの」であり、「繋がりの中で」という尊いもののはずです。

「夜回り先生」との愛称で有名な水谷修先生から伺った話の中に、次のようなものがありました。ご自身が深く関わられた少女の言葉だそうです。「本当の美しさとは、化粧をしたり、綺麗な服を着たりして作れるものではない。心の中に在る優しさなのだ」というものでした。「幸せ」につながる言葉に思えます。

数字が幅を利かせているかのような現代世界にありますと、ふと出てしまうことがあります。それは、初めから自分や人に100点満点の幸せを求めようとすると、却って減点法になってしまうことがある。けれども、むしろゼロからいい部分を加算していけば、結構素晴らしいことや幸せ、感謝に思えることが幾つも見つけられると。ちなみに、キリスト教の発想は減点法よりも加算法のような気がします。

（主教 フランシスコ・ザビエル 高橋 宏幸）

小金井聖公会

聖霊降臨日の後の火曜日の早朝、小金井聖公会の礼拝堂で何か心配が。聖霊の鳩ならぬ雀が入っていた。聖霊降臨日に来訪したのだろう。無理

に追い出さずに、教会の全ての窓とドアを開けておいたら、「チュチュン」と鳴いて大空に飛んで行った。聖霊降臨日の祝福を受けて、私達より3日後にこの世に遣わされて行った雀。

「派遣の唱和」を唱えて。

次回 秋号

11月2日発行予定